

グローバルファンド報告書、エイズ、結核、マラリア対策における大きな前進と、必須医薬品の価格引き下げ実現を強調

- 三大感染症による死亡率は、2002年以來 61%減少し、6500万の命が救われた。
- エイズ、結核、マラリアの主要医薬品及び機器の大幅な値下げと、より広範なアクセスを実現するなど、2023年も引き続き三大感染症対策で大きな成果を残した。
- グローバルファンドによる HIV 対策への投資によって、医療施設の受け入れ能力が向上し、他の疾病への対応も強化されたことをデータが示している。
- 気候変動、紛争、人権への脅威が支援プログラムに悪影響を及ぼしている。

2024年9月19日

ジュネーブ-世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）の [最新の成果報告書](#) によると、エイズ、結核、マラリア対策への投資により、2002年以來、合計 6500万人の命が救われ、三大感染症による死亡率は 61%減少しました。

「これは単なる数字ではありません」と、グローバルファンドのピーター・サンズ（Peter Sands）事務局長は述べています。「私たちのパートナーシップによって救われた 6500万の命一つひとつが誰かの家族であり、友人であり、あるいは隣人や教師、そばで仕事をしている人かもしれません。救われた命や防いだ感染、そのどれもが、家族やコミュニティ、さらには国全体にも、波及効果をもたらします」

この 20 年間、グローバルファンドのパートナーシップがもたらした影響により、平均寿命は劇的に改善されました。国によって平均寿命が異なる世界的な格差は、2002年から 2019年の間に 3分の1減少しました。この格差縮小の半分は、エイズ、結核、マラリアによる死亡率の低下によるものです。

進展と課題

2023年、グローバルファンドが支援するエイズ、結核、マラリアの対策プログラムは、新型コロナウイルス感染症による混乱から完全に回復したと今回の報告書で明らかにされています。

エイズ対策では、グローバルファンドの取り組みにより、HIV 治療の継続的な進展がみられ、過去最多となる 2500万人が抗レトロウイルス療法を受けています。2023年には、5380万件の HIV 検査が実施され、1790万人に対して HIV 予防サービスが提供されました。また、経口曝露前予防(PrEP)やダピピリン膈リングなどの効果的な予防選択肢へのアクセス拡大にも寄与しました。しかしながら、厳罰や政策、そしてスティグマ、差別、暴力(ジェンダーに基づく暴力を含む)といった人権上の障壁は依然として存在しています。世界では、まだ多くの地域の人々が HIV の感染予防、検査、治療、ケアを受けられない状況が続いています。

「感染症との闘いは、生物医学的な闘いであると同時に、正義と公平性のための闘いでもあります」とサンズ事務局長は話しています。「どんなに革新的な生物医学ツールでも、最も必要としている人々がそれらを手に入れできなければ、その役割を果たすことはできません」

新型コロナウイルス感染症による影響を受けていたグローバルファンドの結核プログラムも完全に回復しました。モバイル診断装置や、AI搭載の画像解析ソフトウェア、デジタルX線検査など、スクリーニングにおけるAIの活用を含む新しいツールやアプローチを活用することで、結核感染者の発見と治療がこれまで以上に可能になりました。710万人を超える人々が結核の治療を受け、12万1000人が薬剤耐性結核の治療を受け、結核に曝露された200万人が予防的治療を受けました。しかしながら、抗微生物薬耐性に関連する最大の死因のひとつである薬剤耐性結核は、これまで以上に深刻な脅威となっています。

マラリアに関しては、グローバルファンドは、マラリアの予防、検査、治療ツールへの公平なアクセスを向上させました。主な成果としては、2億2700万張の蚊帳の配布、3億3500万件のマラリアが疑われる症例の検査の実施、1億7100万件のマラリア治療が挙げられます。合計4460万人の子どもが季節性マラリアの化学的予防を受けました。依然として、マラリアは深刻なグローバルヘルスの課題であり、紛争、気候変動、殺虫剤に対する耐性の増加により、過去20年間のマラリア対策の成果が脅かされています。

保健システムおよびコミュニティシステムの強化

また、本報告書では、三大感染症の他、保健システム・コミュニティシステムの強化、世界の健康格差の縮小、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の実現へ、グローバルファンドのパートナーシップが取り組む変革や貢献についても説明しています。

例えば、過去20年間にわたるエイズ対策への投資によって、何百万人もの人々の健康が守られ、16億6000万日分のHIV関連入院と13億6000万回の外来受診が回避され、850億米ドルのコスト削減を実現しました。

サンズ事務局長は、「医療システムの資源の50%以上が三大感染症に費やされている場合、その負担を軽減できれば、保健システム全体のパフォーマンスも劇的に改善することになるでしょう」と述べています。「それは、乳児と妊産婦の死亡率の低下、急性外傷やその他の疾患による死亡数の減少につながります。さらに、コミュニティヘルスワーカー、検査室、サプライチェーン、疾病サーベイランスシステム、その他の保健システム構成要素への継続的な投資により、各国は、エムポックスのような他の疾病や将来のパンデミックの予防、発見、対応に備えることができます」

2023年、グローバルファンドは保健システムとコミュニティシステムの強化に、単年では過去最高となる18億米ドルを投資しました。また、グローバルファンドは、2024年から2026年に保健システムとコミュニティシステムの構築に最大60億米ドルを投資することで、支援対象国があらゆる疾病対策でより高い成果を出し、パンデミックに備え、UHCの達成を支援する計画です。

市場を創るインパクト

グローバルファンドは、品質保証された医療製品や技術革新への公平なアクセスを推進しています。グローバルファンドは、その事業規模を活かし、メーカーには、世界水準の品質基準を満たした製品の生産を促し、低・中所得国向けの供給能力の向上と、医療製品の価格低減を働きかけ、市場を形成しています。

こうした取り組みにより、2023年には三大感染症に関連する主要な製品価格の大幅な値下げを実現させ、より多くの人々に医療製品を供給することが可能になりました。HIVについては、抗HIV治療の第一選択薬でもあるTLDの価格の25%引き下げを実現しました。結核に関しては、診断用のカートリッジ価格は20%、結核の予防的治療である3HPが30%、薬剤耐性結核の主な治療薬であるベダキリンは55%値下げされました。グローバルファンドは、「リボルビング・ファシリティ」という新しいアプローチを通じ、持続可能な価格設定を実現しました。既存の殺虫剤処理蚊帳と比較し45%以上の高い効果を発揮する二種類の殺虫有効成分を使用した新しい殺虫剤処理蚊帳の導入を加速させました。

重複する危機、深化するパートナーシップ

2023年、世界は再び、気候変動、紛争、そして人権、ジェンダー平等、市民社会に対する攻撃を含む数多くの危機に直面しました。こうした危機は、エイズ、結核、マラリアとの闘いに直接的な影響を与えています。

こういった情勢のなか、グローバルファンドは、資金の柔軟な活用、対策プログラムの再編、緊急資金を通じて迅速な支援を提供しました。例えば、スーダン、ウクライナ、中東の激化する紛争に巻き込まれた地域において、コミュニティのニーズに迅速に応えるため、資金の再編を行いました。また、異常気象や気候変動の影響に対応するための取り組みを支援すべく、資金の再編や、ザンビア、ケニア、ソマリアなどへの緊急資金を供与しました。グローバルファンドは、気候変動の影響を最も受けやすい50カ国に資金の70%を投資しています。さらに、保健医療サービスへのアクセスにおける人権やジェンダーに関連する障壁の除去に取り組むため、[Breaking Down Barriers](#)イニシアティブを拡大し、保健医療サービスの提供における包摂性と公平性を確保しています。

サンズ事務局長は「私たちの事業は、包摂的なガバナンスを基盤とするパートナーシップによって支えられ、三大感染症に苦しむ100カ国以上で市民社会、政府、民間パートナー、技術パートナー、地域社会からなるグローバル・ムーブメントになっています」と述べています。「そうしたパートナーシップは、この1年間に直面したさまざまな課題に対応していく上で、非常に重要な意味を持つようになりました」

グローバルファンドは、世界が数多くの危機に直面する中、世界の保健医療活動の効果を最大化できるよう取り組んでいます。すでにGaviワクチンアライアンスやグローバル・ファイナンス・ファシリティ(Global Financing Facility)といったパートナーとの幅広い連携体制を確立しているほか、世界保健機関(WHO)、世界銀行、ユニットエイド(Unitaid)などの長年のパートナーとも緊密に協力し、より多くの命を救い、「すべての人に健康と福祉を」という持続可能な開発目標3の達成に向けた取り組みを推進していきます。

###

注: 写真は [こちら](#) より無料でダウンロードできます。使用の際は写真のクレジットを記載してください。

###

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、エイズ、結核、マラリアを終息させ、すべての人に健康かつ安全で、より公平な未来を築くための世界的なパートナーシップです。年間50億米ドルを超える資金を調達し、最も影響が深刻な100カ国以上における、最も致命的な感染症との闘い、感染症を助長する不公平の克服、保健システムおよびパンデミックへの備えの強化に投資しています。世界のリーダー、コミュニティ、市民社会、医療従事者、民間セクターと連帯し、最

も効果的な方策を見出し、世界規模で展開しています。2002 年の設立以来、グローバルファンドのパートナーシップの支援により 6500 万の命が救われました。

グローバルファンドの活動の詳細は www.theglobalfund.org をご覧ください。

グローバルファンドの X (旧ツイッター) をフォロー: <https://twitter.com/globalfund>
グローバルファンドの Facebook ページはこちら: <http://www.facebook.com/theglobalfund>